

令和元年度 宇治田原町子ども・子育て支援事業進捗状況の点検・評価シート

No. 1

事業名	時間外保育事業					
担当課	健康児童課（保育所）					
事業内容	保育所入所中で延長保育が必要な児童を、朝夕の延長保育時間中に保育する。 (時間) 朝 7:00~7:30、夕 18:30~19:00 (利用料) 月単位 朝 1,000 円、夕 2,000 円 日単位 朝 100 円、夕 200 円					
確保方策	町立保育所（1か所）					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
〈計画・実績値〉		実績は3月末現在の利用実人数				
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み (A)	133	132	125	73	72
	確保の内容 (B)	133	132	125	73	72
実績値	申請児童数 (C)	67	79	74	65	67
	認定児童数 (D)	67	79	74	65	67
	過不足 (D) - (C)	0	0	0	0	0
利用率 (A)		50.4%	59.8%	59.2%	89.0%	93.1%
利用率 (B)		50.4%	59.8%	59.2%	89.0%	93.1%
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○
	評価指標 2	○	○	○	○	○
※利用率(A):量の見込みと認定児童数との比較 ((D) ÷ (A) ×100%) ※利用率(B):確保の内容と認定児童数との比較 ((D) ÷ (B) ×100%)						
評価指標 1：計画通りに進められているか。 評価指標 2：保護者のニーズを満たしているか。 ○…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに下回っている。 △…実績が、「量の見込み」を上回っているが、「確保の内容」を下回っている。 ×…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに上回っている。						
成果・課題／自己評価						
○時間外保育（延長保育）に係る時間延長等について、特に保護者からの要望なし。 ○保護者のニーズ（就労、緊急的な事情等）に応じ、継続して事業実施を行う。						
評価（意見）			今後の方向性			
今後も継続して実施。			今後とも時間外保育需要の動向を注視しながら提供体制の確保に努めていく。			

令和元年度 宇治田原町子ども・子育て支援事業進捗状況の点検・評価シート

No. 2

事業名	放課後児童健全育成事業
担当課	社会教育課
事業内容	○保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、適切なあそび場や生活の場を提供し、その健全な育成を図る。 保育時間 平日：下校時～18：30 土曜日：7：30～18：30（長期休業期間も同じ） ※土曜日は、田原・宇治田原合同開設
確保方策	田原元気っ子クラブ・宇治田原元気っ子クラブ

進捗状況（計画・実績値）及び評価

〈計画・実績値〉

実績は3月末日現在の利用実人数

単位：人		H27	H28	H29	H30	R1	
計画値	量の見込み (A)	118	115	119	120	119	
	低学年	60	60	66	85	84	
	高学年	58	55	53	35	35	
	確保の内容 (B)	150	150	150	150	150	
実績値	申請児童数 (C)	126	127	103	121	108	
	低学年	田原	54	37	42	46	47
		宇治田原	39	49	40	48	34
		計	93	86	82	94	81
	高学年	田原	16	23	10	11	13
		宇治田原	17	18	11	16	14
		計	33	41	21	27	27
	認定児童数 (D)	126	127	103	121	108	
	低学年	田原	54	37	42	46	47
		宇治田原	39	49	40	48	34
		計	93	86	82	94	81
	高学年	田原	16	23	10	11	13
		宇治田原	17	18	11	16	14
計		33	41	21	27	27	
過不足 (D) - (C)	0	0	0	0	0		
利用率 (A)		106.8%	110.4%	86.6%	100.8%	90.8%	
利用率 (B)		84.0%	84.7%	68.7%	80.0%	72.0%	
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○	
	評価指標 2	△	△	○	△	○	

※利用率 (A)：量の見込みと認定児童数との比較 ((D) ÷ (A) × 100%)

※利用率 (B)：確保の内容と認定児童数との比較 ((D) ÷ (B) × 100%)

評価指標 1：計画通りに進められているか。

評価指標 2：保護者のニーズを満たしているか。

○…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」ともに下回っている。

△…実績が、「量の見込み」を上回っているが、「確保の内容」を下回っている。

×…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」ともに上回っている。

成果・課題／自己評価

- 土曜日やお盆期間などの利用人数の少ない日は、田原・宇治田原合同開設を実施した。(4月～9月→宇治田原児童育成施設/10月～3月→田原児童育成施設)
- 両施設で月1回、全学年一緒に工作したりする「あそびのひろば」や、年1回、田原/宇治田原合同の「スポーツ交流会」を開催するなど、活動内容の充実を図っている。
- 職員の安定確保を図るため、引き続き広報紙・チラシ等で募集を行う。

評価 (意見)	今後の方向性
職員の年度途中欠員が生じることのないよう、対策を行う必要がある。	引き続き、人材の確保・育成を図っていく。

事業名	子育て短期支援事業
担当課	健康児童課
事業内容	保護者の疾病などの理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設などにおいて一定期間必要な保護を行う。 ○対象児童：0歳～小学校卒業までの児童 ○利用期間：原則7日（6泊7日）以内
確保方策	「京都大和の家」（精華町）に委託

進捗状況（計画・実績値）及び評価

量の見込み、確保の内容ともにニーズ調査で必要とする回答が少なく、数字が出なかった。

〈計画・実績値〉

実績は3月末現在の利用実人数

単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み (A)	—	—	—	—	—
	確保の内容 (B)	—	—	—	—	—
実績値	申請児童数 (C)	42	9	9	0	0
	認定児童数 (D)	42	9	9	0	0
	過不足 (D) - (C)	0	0	0	0	0
利用率 (A)		—	—	—	—	—
利用率 (B)		—	—	—	—	—
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○
	評価指標 2	—	—	—	—	—

※利用率(A):量の見込みと認定児童数との比較 ((D) ÷ (A) × 100%)

※利用率(B):確保の内容と認定児童数との比較 ((D) ÷ (B) × 100%)

※計画値に対する実績値を○×で判定

評価指標 1：計画通りに進められているか。

評価指標 2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。

量の見込み、確保内容ともにニーズ調査で必要とする回答が少なく、数字が出なかった。よって、量の見込み、確保の内容に対する「評価指標 2」出の評価はできない。

成果・課題／自己評価

○令和元年度においても利用はなかったが、子育てのしおりやHPを通じて広報を行うほか、相談等の際に必要なと思われる家庭には、個別に案内を行った。

○利用の際の施設と町の連携がスムーズに進むよう、施設訪問や情報交換など、連携強化に向けての取り組みを行った。

評価（意見）	今後の方向性
今後も継続して実施。	委託施設との連携により円滑な運用を図り、今後も同様に事業を継続実施していく。

事業名	地域子育て支援拠点事業
担当課	健康児童課（地域子育て支援センター）
事業内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。 ○子育てサービス利用支援事業 ○「パパママハッピープロジェクト」子育て家庭応援事業 ○地域子育て支援事業 ○家庭支援カウンセリング
確保方策	地域子育て支援センター（1か所）

進捗状況（計画・実績値）及び評価

〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の利用実人数

単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み (A)	3,948	3,912	3,648	3,564	3,516
	確保の内容 (B)	4,955	4,955	4,955	4,955	4,955
実績値	利用者数 (C)	3,035	2,622	2,243	2,526	1,899
利用率 (A)		76.9%	67.0%	61.5%	70.9%	54.0%
利用率 (B)		61.3%	52.9%	45.3%	51.0%	38.3%
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○
	評価指標 2	○	○	○	○	○

※利用率(A):量の見込みと利用者数との比較 ((C) ÷ (A) × 100%)

※利用率(B):確保の内容と利用者数との比較 ((C) ÷ (B) × 100%)

評価指標 1：計画通りに進められているか。

評価指標 2：保護者のニーズを満たしているか。

○…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに下回っている。

△…実績が、「量の見込み」を上回っているが、「確保の内容」を下回っている。

×…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに上回っている。

成果・課題／自己評価

- 子育て家庭応援事業では、父親の育児参加を促す取り組みをした。「子育て中の父親」と「妊婦とそのパートナー」の交流の機会を設けるなどして好評をいただいた。
- 令和元年度の利用者数減は、センター周知目的の事業数を減らしたためと新型コロナウイルスによる事業中止等の影響による。

評価（意見）	今後の方向性
今後も継続して実施。	来年度から庁舎移設に伴い新庁舎との一体的な複合施設としてスタートすることから、母子保健との連携を強化しセンターを核とした子育て家庭への総合的な育児支援に繋げる。

事業名	一時預かり事業					
担当課	健康児童課（保育所）					
事業内容	保育所において、保護者の就労形態の多様化、急病や育児疲れ解消のため、一時的に保育が必要となる生後90日から就学前までの児童を預かる。また、里帰り出産等で一時的に居住している就学前児童も対象とする。 ・利用実績（延べ人数）の内訳 保護者の就労等による利用 保護者の病気等緊急利用 保護者のリフレッシュ等上記 以外の理由による利用 ・利用料 3歳未満 1日 2,000円 3歳以上 1日 1,800円 別途給食代 300円					
確保方策	町立保育所（1か所）					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の延べ利用人数						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み（A）	439	435	405	1,000	1,000
	確保の内容（B）	1,054	1,054	1,054	1,054	1,054
実績値	申請児童数（C）	424	755	952	1,097	924
	認定児童数（D）	424	755	952	1,097	924
	過不足（D）－（C）	0	0	0	0	0
利用率（A）		96.6%	173.6%	235.1%	109.7%	92.4%
利用率（B）		40.2%	71.6%	90.3%	104.1%	87.7%
評価	評価指標1	○	○	○	○	○
	評価指標2	○	△	△	×	○
※利用率(A):量の見込みと認定児童数との比較（(D) ÷ (A) × 100%） ※利用率(B):確保の内容と認定児童数との比較（(D) ÷ (B) × 100%） 評価指標1：計画通りに進められているか。 評価指標2：保護者のニーズを満たしているか。 ○…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに下回っている。 △…実績が、「量の見込み」を上回っているが、「確保の内容」を下回っている。 ×…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに上回っている。						
成果・課題／自己評価						
○利用希望は年によってバラツキがあるが、平成29年度の新しい一時保育施設の建設に伴い、利用者が増大し、年間1,000人前後の利用者ニーズがある。 ○加配保育士が必要となる特別な配慮が必要な児童の利用や、保育士の配置基準が厳しい乳児の利用が重なったときなど、利用日の変更をお願いする場合もあり。 ○令和元年度より、生後1歳になるまでの間に年間5回まで無料になる一時保育利用事業をスタートしており、初めての利用者が利用する機会が増えた。						
評価（意見）				今後の方向性		
子育ての実態を反映しやすい事業であるため、利用形態の把握に努める必要がある。				保護者のニーズに対応した保育体制を整えるため、保育士の確保に努める。		

事業名	病児・病後児保育事業					
担当課	健康児童課・保育所					
事業内容	保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合において、病院・保育所等において、病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行う。					
確保方策	○体調不良児型：保育所内の病児保育室 ○病児・病後児型：宇治徳洲会病院 ひまわりルーム					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
〈計画・実績値〉実績は3月末現在の体調不良児型延べ利用人数（平成28年10月より事業開始）						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み（A）	712	706	672	653	645
	確保の内容（B）	712	706	672	653	645
実績値	利用者数（C）	—	187	458	375	409
利用率（A）		—	26.5%	68.2%	57.4%	63.4%
利用率（B）		—	26.5%	68.2%	57.4%	63.4%
評価	評価指標1	—	○	○	○	○
	評価指標2	—	○	○	○	○
<p>量の見込み、確保の内容、利用者数については、体調不良児型。 ※利用率(A):量の見込みと利用者数との比較 ((C) ÷ (A) × 100%) ※利用率(B):確保の内容と利用者数との比較 ((C) ÷ (B) × 100%)</p> <p>体調不良児型（保育所内の在園児が保育中に体調不良となった場合）の計画及び実績とし、病児・病後児（医療機関の病児保育園利用）については、量の見込み等を算出していない。 （病児・病後児型の実利用者数：平成30年度 17人、令和元年度 9人）</p> <p>評価指標1：計画通りに進められているか。 評価指標2：保護者のニーズを満たしているか。 ○…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに下回っている。 △…実績が、「量の見込み」を上回っているが、「確保の内容」を下回っている。 ×…実績が、「量の見込み」と「確保の内容」とともに上回っている。</p>						
成果・課題／自己評価						
<p>○「体調不良型」・・・保育所内の専用スペースで看護師を配置し平成28年10月より実施。看護師のみならず、保育士との連携を密にすることにより安心安全な保育体制を確保できた。</p> <p>○「病児・病後児対応型」・・・宇治市との広域連携により宇治徳洲会病院にて実施。子の看護については、仕事を休んで看たいと思っている方が多く利用数に伸びがみられないが、核家族が増える中、いざという時の安心感につながっている。</p>						
評価（意見）				今後の方向性		
今後も継続して実施。				○体調不良型について、安心かつ安全な保育体制を確保するため、継続して実施する。 ○病児・病後児保育については、さらなる周知に努める。		

事業名	ファミリー・サポート・センター事業					
担当課	健康児童課（地域子育て支援センター）					
事業内容	育児を手伝いたい方（まかせてたい）と、手助けをしてほしい方（おねがいたい）の相互支援を行い、子育てのサポートを行う。 〔登録状況〕 会員数 66名 （内、まかせてたい 18名、おねがいたい 43名、両方会員 5名） 〔利用内容〕 預かり保育 37件、送迎 46件					
確保方策	ファミリー・サポート・センター（1か所）					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
子ども・子育て計画策定の量の見込みを定める際に参照した平成24年度の利用実績はなく、またニーズ調査においても利用希望はごくわずかであり、見込み量を算出することができなかった。						
〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の利用実人数						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み (A)	—	—	—	—	—
	確保の内容 (B)	—	—	—	—	—
実績値	実施件数 (C)	45	48	37	33	25
利用率 (A)		—	—	—	—	—
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○
	評価指標 2	—	—	—	—	—
※利用率(A):量の見込みと実施件数との比較 ((C) ÷ (A) ×100%)						
※計画値に対する実績値を○×で判定 評価指標 1：計画通りに進められているか。 評価指標 2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。						
量の見込み、確保内容ともにニーズ調査で必要とする回答が少なく、数字が出なかった。よって、量の見込み、確保の内容に対する「評価指標 2」出の評価はできない。						
成果・課題／自己評価						
○令和元年度は2組が定期的に利用された。実際の活動には至らないものの、問合せやマッチングまで行う場合も増えている。よく聞くと「子どもを預ける」以外に問題の本質があるケース、他の機関を紹介して解決したというケースもあった。利用者のニーズをよく聞いて情報提供したり関係機関につないでいくのも大事な役割だと考える。						
評価（意見）			今後の方向性			
今後も継続して実施。			サポート会員1人当たりの年間活動件数、サポート会員数及び両方会員数については、ニーズを注視し、提供体制について検討していく。			

事業名	妊婦健診事業					
担当課	健康児童課					
事業内容	妊婦を対象に、安心して妊娠・出産を迎えるため、健康診査に係る費用の一部を助成する。 ○母子手帳交付時に、14回分の妊婦検査受診券綴りを交付 ○委託医療機関以外での受診の場合は、検査費用の一部を助成					
確保方策	委託医療機関に委託して実施					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
当該事業は、ニーズ調査項目外であったため、現状から予測される数値を見込みとし定めた。 〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の年度別利用実人数						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	見込み (A)	109	107	104	101	99
実績値	実施件数 (B)	67	51	57	53	36
利用率 (A)		61.5%	47.7%	54.8%	52.5%	36.4%
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○
	評価指標 2	—	—	—	—	—
※見込み：ニーズ調査の項目になかったため、予測される数字 ※利用率(A):見込みと実施件数との比較 ((B) ÷ (A) × 100%) ※計画値に対する実績値を○×で判定 評価指標 1：計画通りに進められているか。 評価指標 2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。 ニーズ調査項目外であったため、量の見込み、確保の内容を定めていないことから、「評価指標 2」の評価はできない。						
【参考】		(年度別)				
		H27	H28	H29	H30	R1
	母子手帳交付数	61	50	53	53	34
	出生数	49	47	54	46	41
成果・課題／自己評価						
○受診券または償還払いにより、委託医療機関・委託医療機関外問わず費用の負担軽減を図った。 ○国が提示している望ましい公費負担の検診回数に準じて14回分の妊婦健診の費用負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組んだ。						
評価（意見）			今後の方向性			
実施件数については、計画値との対比のみに留まらず、出生数等にも着目し、より実態に近い実施動向の把握に努める必要がある。			妊婦の健康管理を図る上で重要な事業であるため、継続して実施する。 また、母子健康手帳交付時や妊婦面接時において、妊婦健診受診の必要性についての周知を継続する。			

事業名	乳児家庭全戸訪問事業					
担当課	健康児童課					
事業内容	<p>生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を、保健師や助産師が訪問し、子育て支援に関する専門的な相談・アドバイスをを行い、情報提供や養育環境などの把握を行う。</p> <p>ハイリスクな世帯については、医療機関と情報共有し、妊娠から出産子育て期にわたり、連携した支援を行う。</p>					
確保方策	保健師・助産師による訪問					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
<p>当該事業は、ニーズ調査項目外であったため、現状から予測される数値を見込みとし定めた。</p> <p>〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の利用実人数</p>						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み（A）	58	56	56	54	53
実績値	実施件数（B）	51	52	44	51	43
利用率（A）		87.9%	92.9%	78.6%	94.4%	81.1%
評価	評価指標1	○	○	○	○	○
	評価指標2	—	—	—	—	—
<p>※見込み：ニーズ調査の項目になかったため、予測される数字</p> <p>※利用率(A):量の見込みと実施件数との比較（(B) ÷ (A) × 100%）</p> <p>※計画値に対する実績値を○×で判定 評価指標1：計画通りに進められているか。 評価指標2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。</p> <p>ニーズ調査項目外であったため、量の見込み、確保の内容を定めていないことから、「評価指標2」の評価はできない。</p>						
成果・課題／自己評価						
<p>○保健師・助産師が、出生家庭を全数訪問し、児の健全な成長発達の観察だけでなく養育環境や母親の精神状態の把握を含めて包括的に情報を収集し、子育て世代の抱える様々な問題を早期に発見・把握に努めている。</p> <p>○切れ目のない支援を目指し、地域子育て支援センターや保育所等と連携を図っている。今後の支援の充実のため、人材の育成・支援体制の強化が課題となっている。</p>						
評価（意見）			今後の方向性			
今後も継続して実施。			今後も早期から適切な育児支援が提供できるよう、出産後に全ての家庭を訪問し、育児不安の軽減や虐待予防に努める。			

事業名	養育支援訪問事業					
担当課	健康児童課					
事業内容	保護者の育児ストレスや未熟児・多胎児などを養育している家庭など、養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。 ハイリスクな世帯については、医療機関と健康児童課が情報共有し、妊娠から出産子育て期にわたり連携して支援を行う。また、不安の高い妊婦に対しては、助産師による訪問を行い、出産・育児に対する不安解消に努め、出産後の継続的な支援も実施する。					
確保方策	保健師・助産師による訪問					
進捗状況（計画・実績値）及び評価						
当該事業は、ニーズ調査項目外であったため、現状から予測される数値を見込みとし定めた。 〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の利用実人数						
単位：人		H27	H28	H29	H30	R1
計画値	量の見込み（A）	101	101	101	101	101
実績値	実施件数（B）	90	30	12	24	6
利用率（A）		89.1%	29.7%	11.9%	23.8%	5.9%
評価	評価指標1	○	○	○	○	○
	評価指標2	—	—	—	—	—
※見込み：ニーズ調査の項目になかったため、予測される数字 ※利用率(A):量の見込みと実施件数との比較 $((B) \div (A) \times 100\%)$						
※計画値に対する実績値を○×で判定 評価指標1：計画通りに進められているか。 評価指標2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。 ニーズ調査項目外であったため、量の見込み、確保の内容を定めていないことから、「評価指標2」の評価はできない。						
成果・課題／自己評価						
○必要時、養育者の同意のもと訪問や医療機関との情報共有を実施し、養育に関する指導・助言などを行うことで当該家庭の適切な養育の実施を確保することに努めた。 ○子の障害等により育児不安が強い家庭や、保育者自身の疾病や生い立ちなどにより養育能力が乏しい家庭など多岐にわたるため、支援者の力量が必要な事業であり、人材の育成・支援体制の強化が課題となっている。						
評価（意見）			今後の方向性			
他の子育て関連事業とも連携し、情報共有に努めつつ今後も継続して実施。			保護者の養育環境が整い、安心して子育てができるよう、切れ目なく支援していく。			

事業名	利用者支援事業																																													
担当課	健康児童課（地域子育て支援センター）																																													
事業内容	子ども・子育てに係る幅広い情報収集や提供を行い、教育・保育施設等の利用にあたっての助言・利用支援を行う。また、地域子育て支援センター事業と連携し、関係機関との連携・調整や地域の子育て資源の育成など、一体的に運営し、子育て家庭支援の機能強化を図る。																																													
確保方策	子育て支援センターで利用者支援を実施																																													
進捗状況（計画・実績値）及び評価																																														
<p>当該事業は、ニーズ調査項目外であったため、現状から予測される数値を見込みとし定めた。</p> <p>〈計画・実績値〉 実績は3月末現在の設置箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">単位：箇所</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画値</td> <td>量の見込み (A)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実施件数 (B)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用率 (A)</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>評価指標 1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>評価指標 2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※見込み：ニーズ調査の項目になかったため、予測される数字 ※利用率(A):量の見込みと実施件数との比較 ((B) ÷ (A) ×100%)</p> <p>※計画値に対する実績値を○×で判定 評価指標 1：計画通りに進められているか。 評価指標 2：確保の内容が保護者のニーズを満たしているか。</p> <p>ニーズ調査項目外であったため、量の見込み、確保の内容を定めていないことから、「評価指標 2」の評価はできない。</p>						単位：箇所		H27	H28	H29	H30	R1	計画値	量の見込み (A)	1	1	1	1	1	実績値	実施件数 (B)	1	1	1	1	1	利用率 (A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	評価	評価指標 1	○	○	○	○	○	評価指標 2	—	—	—	—	—
単位：箇所		H27	H28	H29	H30	R1																																								
計画値	量の見込み (A)	1	1	1	1	1																																								
実績値	実施件数 (B)	1	1	1	1	1																																								
利用率 (A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%																																								
評価	評価指標 1	○	○	○	○	○																																								
	評価指標 2	—	—	—	—	—																																								
成果・課題／自己評価																																														
○就園に関する情報を求められるケースが多い。宇治田原町の通園児が多い園と連携を取り、気軽に情報交換したり連携を取ったりできる関係作りに努めた。																																														
評価（意見）			今後の方向性																																											
今後も継続して実施。			「産前・産後サポート」として、利用者支援専門員も保健師や助産師とともに妊娠期から産後までを支える一員として位置づけ活動していく。																																											

